

ありがとう・・・さようなら 130年の歴史に幕 岩子小学校閉校式



平成20年3月で閉校する岩子小学校の閉校式が、11月4日同校体育館で行われ、児童や同校卒業生、地域住民や学校関係者ら約200人が参加し、地域住民と共に歩んできた、130年の歴史に幕を閉じました。岩子小学校は来年4月から水沢小学校に統合されます。

式典では、加藤町長が「児童の減少の現実を踏まえ、保護者と地域住民のみならずと議論を重ねた結果、来年4月から水沢小学校に統合するという苦渋の選択をしました。新しい学校では、岩子小学校で学んだ自信と誇りと勇気を持って力一杯活躍



してください。」とあいさつしました。続いて同校がお世話になった方々に感謝状が贈られた後、佐藤智子校長が「岩子小学校で学んでいる誇りを胸に、根気よく夢に向かって頑張ってください。」と児童にエールを送りました。そして、佐々木亮君（6年）が「一日一日を感謝の気持ちを持って大切に過ごし、岩子小学校の歴史に11名の足跡を残していきたい。」と児童代表の挨拶を述べました。

式典終了後、最後の学習発表会が行われ、全校児童による合唱や一輪車での演技、演劇「岩子小学校物語」などが披露され、会場は大きな拍手

が響いていました。

また、校庭では地域住民の寄付などで建てられた記念碑の除幕が行われました。

この岩子小学校は明治10年、地域の寄付金で「東岱学校」として創立されたという、他には類のない形で誕生しました。それから130年間、児童の教育の場だけに限らず地域住民の知識や文化、心のよりどころの役割を果たしてきました。これまで1645人が巣立った、この「小さな大学校」は今年で幕を下ろしますが、母校で学んだ思い出はいつまでも生き続けていくことでしょう。



岩子小学校の歩み

明治10年 東岱学校として創立

当時の児童数は40名

14年 校舎焼失

15年 杉沢に校舎を建築

22年 水沢簡易小学校岩子分教室となる

25年 独立して岩子尋常小学校となる

32年 榎木沢に校舎を建築

35年 水沢小学校と連合で運動会を開催

記録に残っているのは最初の運動会

大正13年 榎木沢に校舎建築

(昭和63年までの校舎)

昭和21年 沢目村立岩子小学校と改称

38年 メタセコイヤ植樹

41年 児童減少で複式学級が始まる

47年 地区住民全員が参加する

岩子地区大運動会を開催

49年 パンと米飯の隔日給食開始

52年 創立100周年

63年 新校舎落成。(現在の校舎)

平成元年 壁泉「岩子の泉」完成

9年 プール完成

14年 NHK「昼時日本列島」に

全校児童出演

19年 創立130周年

岩子小学校閉校式



落成間もない旧校舎（大正13年）



創立100周年での学芸発表



現在の授業風景



ありがとう岩子小学校

